

7 芸術

科目名	書道 I	単位数	2 単位	学年	第 1 学年	科 コース	普通科
使用教科書	教育図書「書 I」			副教材		「ペン習字の基礎」	

学習の到達目標

書・文字に興味を持たせ、書写能力の向上を図り、基礎的な能力を伸ばす学習をする。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	書道の世界へようこそ 姿勢・執筆法を身につけよう 用具・用材を知ろう（筆・墨・紙） 調和よく書いてみよう 表現の幅を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの書写の学習を振り返る。 ・姿勢や執筆法の基本を理解する。 ・用具・用材の種類や性能を学ぶ。また、製造工程や産地を知る。 ・漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。 ・用筆や運筆、用具・用材による表現の違いを学ぶ。 ・葉書の宛名の書き方を学ぶ。
	5	漢字の書の世界へ 古典に学ぼう 楷書の古典に学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書体の変遷について学ぶ。 ・古典の意義や拓本について学ぶ。 ・臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。
	6	唐の四大家（書と人） 行書の古典に学ぼう 王羲之・三筆・三跡（書と人）	<ul style="list-style-type: none"> ・各古典の表現の違いを理解し特徴を時代と人物を通し鑑賞する。 ・臨書学習により、行書の特徴を踏まえ用筆法・運筆法を学ぶ。 ・各古典の表現の違いを理解し特徴を時代と人物を通し鑑賞する。
	7		
二 学 期	9	草書に親しもう 隷書に親しもう 仮名の書の世界へ	<ul style="list-style-type: none"> ・草書に親しむ。 ・隷書に親しみ、運筆のリズムを楽しむ。 ・仮名の成立と変遷、種類について学ぶ
	10	仮名の基本を学ぼう 仮名の連綿を書こう 平仮名を書こう 変体仮名を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の書独特の筆遣いに慣れ、基本用筆を修得する。 ・仮名独特のリズムカルな運筆を学ぶ。 ・仮名の基本用筆やリズムを生かし、単体を習得する。 ・変体仮名の意味を学ぶ。
	11	高野切第三種に学ぼう 高野切第一種に学ぼう 仮名の書の創作をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・高野切第三種を学ぶことで、平安期の仮名の基礎を作る。 ・高野切第一種を学ぶことで、平安期の仮名の格調の高さを知る。 ・自らの思考や感動を表現できる語句を選び、仮名の書の特徴を理解し、形式、構成などの表現方法を工夫し、作品を制作する。
	12	暮らしの中の書	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状の意義を知り、生活に生かす。
三 学 期	1	漢字仮名交じり書の世界へ 創作をしよう 古典に学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの完成の高まりと、表現の可能性を感じ取る。 ・創作の準備と手順を知る。 ・自己の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する
	2	自分らしい表現を求めて 構成を工夫しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材と表現の関係を考える。 ・文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身に付ける。
	3	暮らしの中の書 思いとことばをつむぐ「書」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書で学んだことを生活に生かす。 ・ことばと書の関係を考察する。

学習評価

評価は具体的に次のものを対象にする。

- ・各時間、提出を指示した「作品」
- ・学習への参加状況（出席状況・学習態度等）